

視点(994)

個人金融資産1,504兆円と生活大国への道!!

日本は、外国から一円の借金も実質的にはありません。逆に、世界へ巨額の金を貸し付けている超債権国家です。日本は実質世界一豊かな国で、個人金融資産が1,504兆円存在します(2008年6月末現在、日本銀行・総務省の資料を基に第一生命経済研究所試算)。

その1,504兆円の年齢別内訳は次の通りです。

	構成比			金額
70歳以上	27.1%	59.8%	82.2%	408兆円
60~69歳	32.7%			491兆円
50~59歳	22.4%	40.2%	17.8%	337兆円
40~49歳	12.1%			182兆円
39歳以下	5.7%			86兆円
合計	100.0%	100.0%	100.0%	1,504兆円

すなわち、1,504兆円の6割以上が60歳以上の人々が、8割以上を50歳以上の人々が所有しています。また、1,504兆円の資産の種類別内訳は次の通りです。

	構成比	金額
預貯金	49.3%	741兆円
保険	26.7%	402兆円
株式・出資金	9.5%	143兆円
投資信託	4.4%	66兆円
債権	3.5%	53兆円
その他	6.6%	99兆円
合計	100.0%	1,504兆円

すなわち、1,504兆円の5割が預貯金で、株式・出資金と投資信託は13.9%の209兆円でしかありません。問題は、この1,504兆円の活用です。特に、60歳以上の国民が持っている899兆円(全体の59.8%)の活用です。

日本経済は、次のステップで戦後発展してきました。

	GDPの牽引	時期
第1ステップ	設備投資によるGDPの牽引	1945~1970年(25年間)
第2ステップ	輸出によるGDPの牽引	1970~2010年(40年間)
第3ステップ	消費によるGDPの牽引	2011年以降(予想)

今、日本のGDP(国内総生産)は512兆円(2007年度)、GDPに占める民間最終消費支出は56.9%の291兆円です。また、そのうち小売業の売上高は133兆円です(2004年度)。

	金額	指数		備考欄
国内総生産	512兆円	100.0%	—	2007年度
民間最終消費支出	291兆円	56.8%	100.0%	2007年度
小売販売額	133兆円	26.0%	45.7%	2004年度
自動車を除く(小売販売額)	117兆円	22.9%	40.2%	(自動車・自転車16兆円)

今後、日本のGDPの牽引は「民間消費」です。アメリカではGDPに占める民間消費支出の割合は71.6%の872兆円で、日本の3倍です。

日本のGDPを高めるためには、民間消費をいかに高めるかが今後の課題です。そのためには、日本の消費者の特性である品質を重んじる「世界で一番賢い消費者」を基軸とする産業体制の確立が必要です。世界一豊富な個人金融資産1,504兆円の「真の生活大国」(世界一賢い消費者を基軸とする新経済国家)への「投資と資産の消費移行」が望まれます。

(株)ダイナミックマーケティング社³
代表 六 車 秀 之